

令和元年度

# 事業報告

自 平成31年 4月 1日

至 令和 2年 3月31日

社会福祉法人 秩父市社会福祉事業団

## 総務課 事業報告

### 事業の概要

| 事業計画                        | 主な事業の内容   | 主な事業の実績  |
|-----------------------------|---|--|
| 事業の発展、充実、拡大に努めます。           | 多機能型福祉施設整備計画に基づき、用地取得や建設に関わる事務手続きを遂行します。国庫補助の内示後は、補助金交付に関する手続き、工事・備品等の入札・契約等の事務手続きを適正に行います。 | (仮称)多機能型福祉施設建設における工事請負業者の決定については、国庫補助の内示を受け、県の手引きに従い、入札事務を適切かつ速やかに行いました。その後、下寺尾地区の住民説明会を開催し、近隣住民の理解を得られるよう努めました。               |
|                             | ふあいん・ユ一、星の子教室の事業の移管については、秩父市と連携を図り、事務手続きのみならず、利用者・地域住民にとっても安心した事業運営が図れるよう取り組みます。            | 現場事務所で毎週行われる工程会議に出席し、設計・施工業者と具体的な打ち合わせ、工事進捗状況や近隣状況の確認を行いました。   |
|                             | 秩父市の指定管理者として、運営状況の確認、評価を適切に行い、質の高いサービスの提供に努めます。   | 秩父市の指定管理者としてモニタリングを受け、適切な運営状況の報告を行いました。また、5年間の期間満了に伴い、再度、指定管理者として選定されました。  |
|                             | 防災マニュアルに基づき、災害時の備えを行い、必要な業務が継続できるよう危機管理体制の向上を図ります。また、防犯体制を確立し、利用者、職員の安全を守れるよう整備します。         | 非常災害訓練においては、大雪による雪害を想定し、ほのぼのマイタウンのみならず、外部の事業所とも連携を図り協力体制を整えながら実施しました。<br>また、防犯訓練については、地元、尾田蒔駐在所の協力を仰ぎ、講話、実技を通して防犯に対する研修を行いました。 |
|                             | 事業団の存在をより多くの方に知っていただくよう、広報誌、ホームページやパンフレットを利用して様々な情報を発信します。                                  |  |
| 地域共生社会の実現に向け、地域活動を積極的に行います。 | 高齢者や障がい者の特性理解を深めるために、今までに培った経験や専門的知識を地域へ発信します。  | 地域生活に不安のある方の見守り活動を実施したり、山間部への訪問活動、移動支援を通じて、継続的に困りごとの聞き取りを行いました。  |
|                             | 地元町内会や民生委員と連携し、地域の状況を把握しながら見守り活動を進めます。  | 地域の清掃活動や町内のお祭りに参加するなど、施設が地域の一員として認識してもらえるような取り組みが継続できました。  |
|                             | 生活困窮世帯等、複合的な課題を抱える世帯の相談に応じ、地域での生活を支えます。   | あんしんセーフティネット事業では、一時的な生活困窮者1名の支援を行い、その後も継続的な状況確認を重ねました。また、生活困窮の地域課題とされている子どもの貧困にもスポットをあて、子ども食堂等の実施に向けた検討も重ねました。                 |
|                             | 地域との連携を強化し、町内会活動の参加や交流を積極的に行います。  |  |
|                             | 災害時には福祉避難所としての機能を発揮できるよう、秩父市や近隣施設等と協力を図ります。   |  |

|                                   |   |  |
|-----------------------------------|---|--|
| <p>事務手続きを適正に行い、透明性のある経営を行います。</p> | <p>多機能型福祉施設に係る補助金収入、建築費用、備品購入費用等を予算計上し、適切な会計処理を行います。</p>                                | <p>多機能型福祉施設に係る費用を明確にするため、新施設準備口座を開設し、資金移動を行いました。<br/>また、社会福祉法人現況報告書等をホームページで公開し、事業運営の透明性を図りました。</p> <p>助成金に関しては、障がい者雇用に伴う特定求職者雇用開発助成金、契約職員の正職員化への転換によるキャリアアップ助成金の申請を行いました。</p> |
|                                   | <p>法人全体の経費削減に向けて、定期的に予算の執行状況の確認、報告を行います。また、適切な会計処理により、事業運営の透明性の向上を図ります。</p>             |  |
|                                   | <p>各種助成金の活用を積極的に行い、事業運営の安定に努めます。</p>  |  |
| <p>職員の確保、定着を図り、人材育成に努めます。</p>     | <p>多機能型福祉施設開設に向け介護職、保育士等の人材確保に努めます。また、ハローワーク、各種専門学校等の関係機関とこれまで以上に密な連携を図ります。</p>         | <p>大学、専門学校、高等学校への訪問、合同面接会への参加、ハローワークとの情報交換を密接に行い、求人活動を実施しました。学校の就職担当者と連携を図り、早い時期(6月)に職員採用試験を実施しました。</p>  |
|                                   | <p>働き方改革関連法の改正に伴い、職員が安心して働くことのできる職場環境を構築します。</p>  |  |
|                                   | <p>個々の職員の専門性を向上させるため、職員の資格取得に対する支援を行います。</p>  |  |
| <p>建物及び設備等の適正な管理、見直しを行います。</p>    | <p>省エネに対する取り組みを推進し、環境面に配慮した設備の選定を行います。</p>  | <p>前年の実績をもとに、空冷ヒートポンプチャラーの運用について検討し、設定温度を調整することで光熱費の削減を図りました。</p> <p>合併浄化槽の入れ替えについて、現状の課題を整理しながら秩父市や関係機関と協議を重ねました。</p>   |
|                                   | <p>老朽化している設備に関して、修繕及び機器更新を計画的に行います。また、施設に関する大規模改修工事については、秩父市と協議を重ね補助金や積立金の活用を検討します。</p> |  |

秩父市特別養護老人ホーム偕楽苑 事業報告  
 秩父市特別養護老人ホーム偕楽苑 短期入所 事業報告

事業の概要

| 事業計画  | 主な事業の内容  | 主な事業の実績   |
|---|--|---|
| 一人ひとり誰もが生きがいを感じ、笑顔あふれる暮らしの場を利用者と共に創造します。                  | 利用者自治会(なかよし会)において、生活の希望や生活課題への意見を受け止め、利用者の思いに添った暮らしを実現します。                               | なかよし会の開催等を通じ、利用者一人ひとりの希望を受け止め、外出行事や苑でのレクリエーション活動に取り組みました。   |
|   | 行事、レクリエーションや趣味活動等に取り組み、生きがいをづくりを行います。  | 苑内行事では、毎月の誕生日会、食事イベント、球技大会などの開催、慰問の受け入れを行いました。外出行事では、小鹿野春祭り、塚越の花祭り、あめ薬師、川瀬祭り、上吉田案山子祭り、吉田よいとこ祭り、秩父夜祭り、虚空蔵様など地域行事に積極的に参加しました。また、季節感を感じることができるよう、桜見学(長瀬、美の山)、鯉のぼり見学(群馬)、北条まつり見学(寄居)、いちご狩り、新潟大凧見学、木下大サーカス見学、荒川新そば祭り外出、風布みかん狩り、節分外出(秩父神社)、両神ろう梅見学などの行事を実施しました。 |
|   | 利用者一人ひとりの特技を活かしての活動や、利用者の支え合い等を支援し、主体的な暮らしの場を実現します。                                      |   |
| 個人史や人と人との繋がりを尊び、ご家族や地域との関係を大切にすることで、地域社会の一員としての暮らしを実現します。 | 広報誌の発行、フェイスブックの活用、日々の暮らしの写真の掲示等により、施設での暮らしを発信することで、ご家族や地域の方にとって施設が身近なものとなるよう取り組みます。      | 広報誌「ほのぼのだより」、フェイスブック等を通じ、日々の様々な取組みを発信することで、施設の様子をご家族をはじめ関係者以外の方にも幅広く知ってもらうことができました。   |
|   | ほのぼのの祭りや食事会など、様々な行事にご家族に参加いただき、家族関係を深めると共に、ご家族の協力のもと施設生活の充実に取り組みます。                      | ほのぼのの祭り、ほのぼのの感謝祭などを通じ、ご家族との交流の中から家族関係を深めることができました。また、地域で行われる行事へ参加することで、地域の方々とのつながりを持つことができました。  |
|   | 利用者、またその家族の希望に寄り添い、外出・外泊の支援や地域行事への参加等を行うことで、新たな出会いや地域との繋がりが構築できるよう取り組みます。                |   |
| 生活困難者等への支援において、迅速かつ適切に対応することで施設機能を最大限、地域に還元します。           | 秩父市をはじめとした行政機関や包括支援センター等との連携を密接に持ち、虐待等の緊急ケースに迅速に対応します。                                   | 行政機関やケアマネージャーから、緊急的に在宅生活が困難となったケースを複数受け入れました。また、徘徊等のある重度認知症者や褥瘡処置等の医療ニーズの高い利用者も受け入れました。   |
|   | 重度認知症者や医療ニーズのあるケースについても積極的に受け入れます。   |   |
|   | 特養入所利用率97%以上、短期入所利用率95%以上を実現します。   | 特養入所利用率94.6%、短期入所利用率97.1%でした。   |
| 専門機関、専門職としての誇りを持ち、組織として研鑽を積み、謙虚に実践の向上に努めます。               | 職員間の意見交換を活発に行うことで、一人ひとりの思いを実践の中に活かし、各人のやりがいを高揚し、組織として研鑽を深めます。                            | 誕生日会や食に関する行事を実施し、デザートバイキング、柏餅作り、おはぎ作り、餃子作り、すいとん作り、つけ麺やサンドウィッチのセレクト食等を実施し、食べることの喜びを感じていただきました。   |
|   | 認知症の専門研修、人権擁護、事故防止、感染症に関する研修等を行うことで、知識の共有と深化をはかり、職員の資質向上に取り組みます。また、資格取得に向けての気運を醸成し支援します。 | 新人研修、褥瘡防止研修、リスクマネジメント研修、感染症対策研修、虐待防止研修、身体拘束防止研修、看取り研修、認知症研修等を行い、専門的知識を深めました。また、委員会や係の活動を通じて、職員一人ひとりが責任とやりがいを持って業務と処遇改善に取り組みました。   |
|   | 嘱託医との連携を適切に行います。また、日々の健康観察を行い、その情報を共有しケアを実践することで健康増進に努めます。                               | 嘱託医や協力病院と密接に連携し、利用者の健康維持に努めました。   |
|   | 定期的な歯科往診と歯科衛生士の指導・助言に基づき、口腔ケアに取り組むことで健康づくりにつなげます。  |   |

|   |   |
|---|---|
| <p>苑内美化やさわやかな空間づくりに取り組み、心地よく生活できる環境を実現します。また、個別の身体状況等に応じ生活環境を整えることで、安全な暮らしの場を実現します。</p> | <p>定期的には大掃除を位置づけ、苑内の美化に取り組みました。また、空気加湿清浄機の導入やこまめな換気に取り組むなど、生活環境の改善に努めました。様々な取り組みを通して職員の生活環境整備に関する意識を啓発しました。</p> |
| <p>食べることの喜びが感じられるよう、ゆったりとした食事場面をつくります。また、一人ひとりの嗜好や食事摂取状況にあった食事提供を行い、食生活の充実に努めます。</p>    |   |
| <p>グループでのゆったりとした入浴場面の提供や個別性を重視した快適な排泄環境を整えることで、安楽な生活が送れるよう取り組みます。</p>                   |   |
| <p>他職種連携のもと個別機能訓練計画に基づいたリハビリを実践することで、身体機能を維持し、安全に可能な限り自立した生活が送れるよう取り組みます。</p>           |   |

## 秩父市立養護老人ホーム長寿荘 事業報告

### 事業の概要

| 事業計画   | 主な事業の内容   | 主な事業の実績  |
|--|---|--|
| <p>利用者の自主的な生活が営めるよう自己決定を尊重し、自立支援に向けた取り組みを行います。また、ご家族や地域との繋がりを大切に、地域社会の一員としての暮らしを実現します。</p> | <p>利用者の思いやそのおかれた状況を鑑みて、明るく家庭的な雰囲気の施設生活を通して、その人らしい生活の実現に努めます。</p>  | <p>自立支援に向けた取り組みとして、入所者と個別面談を行い、本人が望んでいること、できることを再確認し、個別支援計画に活かしました。</p> <p>社協を利用したボランティア活動(傾聴)を通して、その人らしい社会参加を促しました。</p> <p>利用者のご家族に関する課題についても、ご家族や関係機関に積極的に協力し、良好な家族関係が維持できるよう支援しました。</p> <p>また、身寄りのいない方の葬儀に関すること、債務整理に関することなどを行政や法テラスと協力して行いました。</p> <p>個人の思いを実現させ、小人数でのグループ外出を通して、画一的にならない支援を実施し、生きがい作りに取り組みました。</p> <p>施設内作業での役割を担った活動をはじめ、引き続き地域の一員として生きがいを感じられるよう、中蒔田地区の清掃活動、納涼祭へ参加しました。</p>     |
|  | <p>自治会議の開催を通じ、利用者の声に耳を傾けることで、その声を行事やレクリエーション、趣味活動等に反映します。</p> <p>利用者個々の身体状況に応じ、少人数でのグループ外出や県外への宿泊旅行など、画一的にならない外出支援、社会参加に取り組みます。</p> |  |
|  | <p>広報誌の発行や、日頃の生活状況の報告、相談の実施等により、ご家族との繋がりが深まるよう努めます。</p>   |  |
|  | <p>地元町内の地域活動への参加を維持し、利用者が地域の一員として生きがいを持つよう支援するとともに、地域貢献事業の発展に努めます。</p> <p>利用者の施設内作業を促進し、働くことの喜びと共同生活の喜びを感じることできるよう支援します。</p>        |  |
| <p>専門機関・専門職として、研鑽を積み、改善改革に取り組み、質の高いサービスを提供します。</p>   | <p>職員間、職種間の情報共有と意見交換により、その人らしさを尊重した支援をチームで実践することで、質の高いケアの実現に努めます。</p>   | <p>養護老人ホームでの医療ニーズの高まっている現状に対して、嘱託医を中心に、秩父郡市外の各専門医療機関と連携を図り、医療が必要になっても安心して生活を送れる環境作りを行いました。</p> <p>委員会活動についてはスケールメリットを活かし、他部署との合同開催により、幅広い委員会活動や各種研修を行うことができました。</p> <p>本人の意向により、在宅時から利用している介護保険サービス(デイケア)を入所後も利用できるよう関係機関と協議し利用継続につなげました。</p> <p>退所支援については身体的、精神的な状況に応じた医療機関、介護保険施設へ繋がるよう、各関係者と密な連携を図ることによりスムーズに移行できるよう支援を行いました。</p> <p>触法者の入所受け入れについては、関係機関と密に連携を図るとともに、専門の研修参加を通じて支援方法や対策を学びました。</p> |
|  | <p>小さな体調変化をしっかりと観察し、嘱託医を中心とした医療機関との連携を深めることで、利用者の皆様がいつまでも元気に過ごせるよう、健康管理に努めます。</p>   |  |
|  | <p>身体状況の把握、生活環境の整備、事故防止策の分析などに取り組み、安心で安全な生活の場を構築します。</p>  |  |
|  | <p>要介護者が必要なサービスを利用できるよう関係機関と協力し、住み慣れた施設での生活が維持できるよう支援します。</p>   |  |
|  | <p>退所後も安心して生活できるよう、身体状況に応じた施設につながるよう関係機関と連携を図ります。</p>   |  |
|  | <p>多様で幅広いニーズに対応できるよう他事業所との研修や行事を通じて連携を図り、スケールメリットを活かした事業運営に取り組みます。</p>  |  |

|                            |  |   |
|----------------------------|--|---|
| 全職員で現状課題を把握し、健全な施設運営を図ります。 | 入所利用率98%を目標とし、安定した運営を図ります。   | 年間の入所利用率は目標値である98%でした。  |
|                            | 諸経費のコスト削減に努め、適切な事業運営を図ります。   | 職員全体でコスト意識を持ち、無駄のない物品購入や節電を心掛け、適切な事業運営を行うことが出来ました。  |
|                            | 秩父市をはじめ、入所措置機関と円滑かつ速やかな連携に努め、経済的および環境的な理由による生活困窮者等に対する社会資源として地域社会に貢献します。 | 秩父市をはじめ、入所措置機関と連携を図り、環境的、経済的に課題のある困難ケースの受け入れを積極的に行いました。また、居宅介護支援事業所からも、在宅生活困難者を緊急ショートステイとして受け入れました。 |

## 蒔田デイサービスセンター 事業報告

### 事業の概要

| 事業計画  | 主な事業の内容  | 主な事業の実績   |
|---|--|---|
| <p>利用者が住み慣れた地域で生活が続けられるよう地域に密着し事業を展開していきます。</p>                     | 積極的に利用希望を受け入れ、利用率の向上(目標80%)を図り、諸経費等のコスト削減に努めます。  | <p>今年度の利用率は、73.5%でしたが、体調不良や入院者が多い中、新規利用の受け入れを積極的に行いました。</p>   |
|   | より多くの方々に利用して頂けるよう地域のあらゆる資源を活用して、特色のあるサービスの提供に努めます。                                     |   |
|   | 理学療法士による専門的なリハビリの実施と、充実した看護体制により、医療ニーズの高い方の受け入れを行います。                                  | <p>今年度より新たにリハビリとレクリエーションを組み合わせた「運動レク」を取り入れ、より充実したリハビリが実施できました。</p>  |
|   | 広報誌・ホームページ等で広く活動内容を情報発信します。  | <p>フェイスブックを通じて、特色のある活動内容や日常の様子を発信することができました。</p>  |
|   | 日常生活支援総合事業、障害福祉サービス利用者の受け入れを積極的に行い、地域に密着したサービス提供を職員全体で行います。                            | <p>日常生活支援総合事業、障害福祉サービス利用者の積極的な受け入れや体験利用を実施することで、地域に密着したサービス提供に努めました。</p>                                  |
|   | 居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、医療機関、家族等と情報交換を密に行い連携を図ります。  | <p>家族を始め、居宅介護支援事業所、地域包括支援センター、医療機関との連携や情報交換を行う事で、一体的なサービスの提供が実施できました。</p>                                 |
| <p>「その人らしさを大切に…」を職員の共通理解とし、職員の資質向上と人材育成を行い、質の高い福祉サービスの提供を目指します。</p> | 外部・内部研修へ積極的に参加し、それぞれの事業所及び職員が持つ情報や知識を事業所全体で共有して活かしていきます。                               | <p>外部・内部研修に参加することで、他事業所の職員との交流や情報交換ができ、個々のスキルアップに繋げることができました。</p>   |
|   | 毎月のミーティングや毎日の申し送りで、利用者の情報を共有し利用者一人ひとりに寄り添った支援を行います。                                    | <p>申し送りやミーティングでは、利用者の状況報告することで情報の共有やニーズを確認し合い、利用者一人ひとりに寄り添ったサービス提供に努めました。</p>                             |
|   | 事業所間相互の協力体制を確立し、各事業所と連携を図り業務の効率化に努めます。   | <p>各事業所との連携に努め、情報共有と業務の効率化を目指しました。</p>  |
|   | 安全衛生委員会を通じて安全で快適な職場環境の整備に努めます。<br>また、職員のモチベーションを低下させないよう、メンタル面のフォローアップを行い、心の健康管理に努めます。 | <p>運転業務において、上半期では事故報告も数件見られた為、改めて職員一人ひとりの安全への意識改善を呼びかけ、業務の見直しを行いました。また、メンタルヘルスについては、相談しやすい環境整備に努めました。</p> |
|   | 自己啓発等の行いやすい体制づくり、資格取得に向けた支援体制、人材の育成に努めます。  | <p>職員の資格取得に向け、情報提供や支援体制を伝える事で資格取得への意欲向上を図りました。</p>  |



|                                 |  |  |
|---------------------------------|--|--|
| 積極的に利用者の受け入れを行い、安定した施設の運営を行います。 | 制度の動向・方向性を的確に把握し、職員が分かりやすく周知できるよう努めます。 | 事業所の安定した収入の確保を目指し、稼働状況、利用率等の分析を行い、運営面に関して職員間で共通意識を図りました。 |
|                                 | 事業所の稼働状況を定期的に分析し、適正な収入が確保出来るよう努めます。    |  |
|                                 | 職員一人ひとりに至るまで共通の意識と目標が浸透した職場づくりに努めます。   |  |

## 秩父市ヘルパーステーション 事業報告

### 事業の概要

| 事業計画   | 主な事業の内容  | 主な事業の実績   |
|--|--|---|
| 在宅での生活を継続できるよう利用者の自立度や障がい特性に合わせたサービスが提供できるよう、職員の資質向上を図ります。 | 医療・福祉・介護等に関する外部研修への参加、新規職員研修として特養・デイサービスでの実務研修を実施し、職員のスキルアップを図ります。   | 月1回のミーティング及び内部研修会を開催し、職員の情報共有と資質向上に努めました。<br>内部研修では、ヘルパーとしての課題解決や接遇の向上に向けて、感染症に関する研修や障がい者支援の研修を取り入れました。今年度は介護福祉士の試験に1名のヘルパーが合格することが出来ました。 |
|  | 月1回のミーティングを開催し、利用者の情報共有、支援内容の確認、事例検討・職員研修の実施、報告・連絡・相談の場とします。         |   |
|  | 介護福祉士等の国家資格や障がい者支援に関連する資格取得をサポートし、事業団の専門機能を高めます。                     |   |
| 利用者及び利用者家族や地域との連携を深め、地域に根付いた事業所を目指します。                     | 関係機関との情報交換等を行い、連携を強化することで、発生する課題に対し迅速な対応を行います。                       | 関係機関との連携を深めるためにコミュニケーションを密に図り、利用者の課題に対し迅速に対応しました。<br>サービス提供責任者による自宅訪問や各ヘルパーとの情報共有を積極的に行い、利用者の現状把握に努め、適切な支援が提供できるよう働きかけました。                |
|  | 利用者及び家族に対し支援内容を解りやすく丁寧に説明し、意向や希望を尊重した支援を行います。                        |   |
|  | 利用者・家族等へ様々な情報を発信できるよう、自宅訪問の際に適切な情報提供と、必要に応じてケアマネージャーや関係機関の情報提供を行います。 |   |
| 高齢者及び障がい者の積極的な利用受け入れを行い、安定した事業所の運営を行います。                   | 支援困難・緊急なケースを積極的に受け入れるため、事業所に滞在するヘルパーを配置し迅速な対応を行います。                  | 下半期には積極的に新規利用者の受け入れを行い、訪問者数が目標の135名を達成することが出来ました。居宅介護支援事業所、障がい者支援センターや地域包括支援センターと良好な関係を構築した結果、新規利用者の依頼を多く受け入れました。                         |
|  | 訪問者数の増加(目標135名)を図ります。  |   |

## 秩父市高篠デイサービスセンター 事業報告

### 事業の概要

| 事業計画   | 主な事業の内容   | 主な事業の実績   |
|--|---|---|
| 利用者一人ひとりが、それぞれの持てる力を活かしながら、住みなれた地域で安心して生活できるよう支援します。 | 利用者が安心して在宅生活が継続できるよう、地域、医療、介護といった他職種連携による「チームケア」で支援します。             | 利用者の身体状況、ご家族のご都合に合わせて、利用日の変更や送迎時間を3段階に分け、送迎時間の調整、利用日の追加など柔軟な対応を行いました。<br>また、利用者が持っている知識や経験をレクリエーションに取り入れ、役割を持って参加できる環境作り、つながりを持っていただきました。   |
|  | 利用者が持つ豊かな経験と知識、技能を活かせるような環境を整備します。                                  |   |
|  | 利用者が望む場所での生活を継続していくために、身体状況や家族の変化に対応しながら支援します。                      |   |
| 多様化する利用者ニーズに応えられるよう、福祉サービスの提供体制の充実を図り事業を展開していきます。    | 困難ケースの積極的な受け入れ、また多様化するニーズにも柔軟な受け入れが出来るよう努めます。                       | 独居の高齢者や医療ニーズ、難病指定の方の利用日調整を行い、多様化するニーズに柔軟な受け入れが出来るよう努めました。また、利用者一人ひとりの希望に添えるよう個別対応を心掛け支援しました。  |
|  | 利用者一人ひとりに、きめ細かな支援を行えるよう、介護保険などフォーマルなサービスだけでなく、ボランティア等の協力を得ていきます。    |   |
|  | 上質なサービスを安定的に供給するため収入の確保と、できる限りのコスト削減に努めます。                          |   |
| 人材育成に努め、利用者のニーズを把握するとともに、質の高い福祉サービスの提供を目指します。        | 職員の資質の向上に資するため、年間計画に基づいて、職員対象の研修を積極的に行います。                          | チームによる質の高い福祉サービスの提供を目指し、年間計画に基づき毎月の研修を行うと共に、新規職員に対し基礎研修を行い資質向上に努めました。   |
|  | 職員それぞれの立場にあったスキルアップ・モラルアップ・モチベーションアップを図り、チームによる質の高い福祉サービスの提供を目指します。 |   |
|  | OJT・OFF-JT、自己啓発等の行ないやすい体制づくり、資格取得に向けた支援体制の充実に努めます。                  |   |
| 地域に広く開かれた高齢者福祉施設として、地域行事へ積極的に参加する機会を設け、地域との交流を深めます。  | 地域特性を活かしつつ、学校や学生ならびに地域ボランティアの受け入れを積極的に行います。                         | 地域に広く開かれた高齢者福祉施設として、地元小学校との交流会を実施し、施設見学や歌の披露、高齢者と触れ合うことができる場面を提供しました。地元保育所との交流会の実施は利用者の楽しみとなりました。また、ダンスや音楽バンド、歌謡といったボランティアグループの受け入れを行い地域の方々にも参加していただける行事を開催しました。この様な活動内容を広報誌・ホームページを通し発信しました。 |
|  | 地域住民から寄せられる介護相談等に積極的に対応し、在宅支援の役割を担います。                              |   |
|  | 広報誌・ホームページ等で広く活動内容を情報発信します。   |   |

## 秩父市上吉田デイサービスセンター 事業報告

### 事業の概要

| 事業計画   | 主な事業の実績  | 主な事業の実績  |
|--|--|--|
| 共通の課題認識をもち全職員で施設運営に参画します。                      | 日々の光熱水費の使用状況を把握し、節電・節水に努めます。必要物品について検討し諸経費等のコスト削減を図ります。              | 今年度の実績は、平均利用者数は要介護の利用者も多く受け入れ、15.3名(利用率85.1%)でした。<br><br>地域密着型サービスの要件である、運営推進会議を7月と2月に開催しました。本年度は上吉田・石間地区の民生委員の代表者1名の方に出席して頂き、現在の地域の現状について協議することができました。<br><br>利用状況の分かる冊子等を作成し、各事業所に積極的にアプローチを行うとともに、フェイスブックを活用した情報発信を随時行いました。 |
|  | 利用定員を地域密着型通所事業最大の18名とし、新制度の正確な把握と対応に努めます。                            |  |
|  | 広報誌やホームページを活用した積極的な広報活動を行います。また、ケアマネージャーへのアプローチを積極的に行い、利用率の向上を図ります。  |  |
| 支援困難事例や重度の利用者の受け入れを積極的に行い専門職として質の高いサービスを提供します。 | コミュニケーション技術、介護技術を習得し、職員一人ひとりのスキルアップを図ります。様々な利用者への支援が的確に行えるよう体制を整えます。 | 「介護予防・日常生活支援総合事業」対象者や障がい者の積極的な受け入れを行い、今年度は、13名の新規利用者の受け入れを行いました。介護支援事業所からの相談に対して柔軟な支援を行いました。   |
|  | 緊急時の対応、事故防止、認知症についての研修を実施し、職員の資質の向上を図り、利用者に安心、安全なサービスを提供します。         |  |
|  | 月1回、ミーティングを実施し利用者の状況、事業所内での課題を検討し、事業所全体のサービスの質を向上していきます。             |  |
| 近隣の地域の人との関係を構築していきます。地域に密着したデイサービスを実現します。      | 地域住民から寄せられる介護相談等に積極的に対応し、地域住民が安心して在宅生活が継続しているよう支援します。                | 昨年度から地域住民からの意向を踏まえ、当施設が地域の避難所の指定を受けていることから、今年度は9月1日に上吉田地区の防災訓練を施設駐車場でを行い、調理実習室を使用した炊き出しの訓練も行いました。<br>また、地域で一人暮らしなど生活に不安のある方の見守り、声かけ支援を継続して行いました。   |
|  | 近隣の吉田地域や小鹿野方面への外出を実施し、地域との交流、つながりが深められるよう支援します。                      |  |
|  | 運営推進会議を通じて地域住民からの意見や要望をくみ上げ、地域とのより良い関係を構築します。                        |  |
| その人らしさを大切にし幸せを感じる事ができるようなデイサービスを全職員で創造します。     | 全職員でレクリエーション活動を考え作業分担などを協力して行います。                                    | 利用者一人ひとりの家族事情や生活スタイルを踏まえて、余暇活動での買い物や季節に応じた地域行事への参加を積極的に行いました。  |
|  | 利用者の個別ニーズに合わせた外出やレクリエーションを実施することにより個別支援の充実を図ります。                     |  |
|  | ボランティア、慰問の受け入れを積極的に行い地域、世代間の交流を深めていきます。                              |  |

## 秩父市社会福祉事業団居宅介護支援事業所 事業報告

### 事業の概要

| 事業計画   | 主な事業の内容   | 主な事業の実績   |
|--|---|---|
| 市町村・包括支援センター及び医療機関との連携を全職員で深め、積極的に新規利用者の受入れを行います。また、市町村からの委託業務等も継続的に行います。          | 困難ケースや緊急ケースの受け入れを積極的に行い、各個人がその人らしい生活が送れるように支援します。                   | 昨年度から引き続き、以前支援していた方の知人や家族からの依頼も多く受け入れ、安定した支援者数を維持しました。隣接している各市町村への研修会や個別ケア会議へ継続して参加しました。秩父市からの委託業務である認定調査については、大滝・荒川地区、吉田地区など幅広い地域からの依頼を受託することができました。支援者数は、目標数値を維持することができ、月平均226人の利用者を支援しました。                   |
|  | 年間を通して月225件以上の支援者数を維持します。   |   |
|  | 介護保険委託業務の認定調査を実施します。  |   |
|  | 『介護予防・日常生活支援総合事業』の委託受け入れを積極的に行います。                                  |   |
|  | 認定審査会への出席を継続して行います。   |   |
|  | 市町村及び各包括支援センター、医療機関や介護保険事業所との情報交換を行い、更なる連携強化を図ります。                  |   |
| 専門的な知識を深め、ケースワークの技術を更に高めることで、個人の生活の質が向上できるような支援を行います。主任介護支援専門員の更新研修へ参加し資格要件を維持します。 | 地域サービスや新規事業所、インフォーマルサービスの把握を行うことで、ケースワークの質を高めます。                    | 主任介護支援専門員資格所有者が3名となり、令和3年より開始される管理者要件に対応できる体制を整備しました。また、特定事業所加算算定体制も維持しました。他事業所との合同事例検討会は、年3回実施し、他事業所のケースを通じてマネジメントについての見識を深め、日々のケアマネジメントに活かすことができました。地域のサービス事業所、インフォーマルなサービスについては、週1回開催している会議で確認し、情報の共有を図りました。 |
|  | 介護支援専門員更新研修及び主任介護支援専門員更新研修、県・市町村・各事業所の主催する研修へ積極的に参加し、専門的知識の向上に努めます。 |   |
|  | 「特定事業所加算Ⅱ」の算定を継続できるよう、算定要件を理解し、体制・支援内容等の維持や変更を行います。                 |   |
|  | 計画的な研修計画を介護支援専門員へ実施します。   |   |
|  | 他の居宅介護支援事業所との交流を深めケース会議や事例検討会を開催することで、マネジメント力を高めます。                 |   |
| 平成30年度介護保険制度改正の内容を把握し、利用者の抱えるニーズに合わせた支援を行っていきます。                                   | 包括支援センター等から依頼された困難ケース等の事例にも積極的に受け入れを行います。                           | 事例提供を行った地域ケア会議や横瀬町・皆野町包括支援センター主催の研修への参加を継続し、研鑽に努めました。包括支援センターからの困難ケースにも積極的に関わり、協力して支援することができました。利用者、事業者の不利益とならないよう介護保険制度の内容を把握し、適正な事業運営を行いました。  |
|  | 「運営基準減算」や「特定事業所集中減算」等の適用を受けないよう適正な事業運営を継続します。                       |   |
|  | 法改正及び報酬改定を理解し、利用者のニーズに合わせたサービス利用ができるよう支援します。                        |   |
|  | 「地域ケア会議」「各包括支援センター主催の研修や勉強会」へ参加します。                                 |   |

## 秩父市立上吉田高齢者生活支援ハウス 吉祥苑 事業報告

### 事業の概要

| 事業計画   | 主な事業の内容  | 主な事業の実績   |
|--|--|---|
| <p>高齢者生活支援ハウスに求められる役割を自覚し、地域福祉の発展と向上に貢献します。</p>            | <p>秩父市および包括支援センター、居宅介護支援事業所など関係機関と連携し、入居等の相談、緊急入居事例等に速やかに対応します。</p>                            | <p>令和元年度の新規入居者数は3名、退居者は3名で、3月末日時点での入居者数は20名でした。また、入居決定済みの方が2名待機しています。</p> <p>上吉田東町会の「ボテくまくん健康体操」事業に協力し、実施会場として吉祥苑ロビーを使用し、25名前後の方に毎回参加していただきました。</p> <p>4月に行われた吉田幼稚園・保育所の合同入園式に来賓として招かれました(上吉田デイ管理者が施設を代表して出席しました)。10月には、運動会に招待されました。</p> <p>10月5～6日に行われた上吉田東町会の作品展に出展しました。</p>  |
|  | <p>近隣地域に吉祥苑の機能や役割を周知します。地域行事等に積極的に参加し、地域との一体感を高めます。</p>  |   |
|  | <p>とくし丸等の移動商店での買い物の機会を開放し、地域の方の利便性を向上します。</p>  |   |
| <p>職員1人ひとりの介護技術、相談援助技術の向上を図り、質の高い福祉サービスを提供します。</p>         | <p>上吉田デイと共同して年間研修計画を策定し、計画的・組織的な職員研修を実施します。</p>  | <p>昨年度上・下半期の2回行っていた日帰り旅行について、入居者のADLのばらつきや職員体制を考慮し、上半期は少人数での外出を企画しました。5月と6月に日高市の醬遊王国へ出かけました。</p> <p>10月に群馬県前橋市の敷島公園ばら園に日帰り旅行に出かけました。</p> <p>ひだまり会を3回実施し、新規入居者のご紹介や意見交換を行いました。</p> <p>デイサービスと共同での特別昼食、特製おやつなどの行事に参加していただきました。</p>  |
|  | <p>物品の購入や施設整備の保守・修繕について適正な管理を行います。職員による日常的な保守点検および修繕を実施します。</p>                                |   |
|  | <p>日帰り旅行、夕涼み会、お花見など、入居者のQOL向上に資する余暇活動を計画・立案し、実施します。入居者のニーズを汲む機会として、ひだまり会(入居者自治会)を定期的実施します。</p> |   |
| <p>「一日でも長く地元地域で暮らしたい」という要望を実現するため、安心・安全な生活を送れるよう支援します。</p> | <p>市民福祉課、包括支援センター、警察署等の関係機関と連携し、入居者の消費活動を守るとともに、防犯意識を高めます。</p>                                 | <p>6月に小鹿野警察署の協力のもと防犯訓練を実施し、女性職員しかいない状況での不審者対応と避難訓練、警察への通報訓練を行いました。</p> <p>避難訓練では、救命救急講習を併せて実施し、緊急時の対応について学びました。また、9月1日に行われた上吉田東町会の防災訓練で、調理室を使用した炊き出し訓練を実施しました。</p> <p>11月には上吉田東町会主催の交通安全教室をデイサービスと共同して開催しました。</p> <p>上吉田医院の往診は3月末時点で13名の方が対象となり、定期および随時の往診にご協力いただきました。倉林歯科の往診は延べ3名の方が対象となり、義歯作成や治療、衛生指導を行っていただきました。</p> |
|  | <p>上吉田医院、倉林歯科クリニックによる内科・歯科往診を実施します。早朝・夜間帯の職員不在時の緊急事例に対し、関係者間で連携し迅速に対応します。</p>                  |   |
|  | <p>消防訓練・災害訓練を実施し、非常災害時の対応を強化します。また、防犯訓練を実施し、施設的安全性を高めます。</p>                                   |   |

## 秩父市重度心身障害者通所施設ふあいん・ユー 事業報告

### 事業の概要

| 事業計画                                    | 主な事業の内容   | 主な事業の実績  |
|---|---|--|
| 利用者、ご家族に安心して利用していただけるよう、質の高いサービスを提供します。 | 利用者の体調変化には常に細心の注意をはらい、急な変化については随時家族と連絡を取り適切に対応します。                        | 利用者の状態に合わせて室温・湿度を調整し、快適な室内環境の提供に努めました。ご家族と直接電話のやりとりや連絡ノートを使用し、体調や状態の変化など、連携を図ることが出来ました。<br>土曜日利用の希望の声が多く寄せられ、10月より月2回の土曜日営業を行うことが出来ました。<br>室内レク外出レクなどの日中活動の様子を、フェイスブックを活用し広く伝える事が出来ました。              |
|   | 快適な室内環境等の整備、提供に努め、施設設備の点検、修繕などを秩父市と連携し、適切に行います。                           |  |
|   | 定期的に家族懇談会(年2回)を開催し、家族との信頼関係の維持を行います。また新施設への移行についての理解を深める為、意見交換等を積極的に行います。 |  |
|   | フェイスブックの活用、広報誌の発行により外部への積極的な広報活動を行います。                                    |  |
| 新規施設への移行に向け職員全員で共通の課題意識を持って準備にあたります。    | 緊急時や感染症など、その他業務運営全般におけるマニュアルの整備を行います。                                     | 年間計画に基づき研修を行うことにより、専門的知識を高め介護力の向上を図りました。事業所外の研修への参加の促しや職員それぞれの立場にあった指導を行い資質向上に努めました。また外部施設へ見学に行くことにより、新施設への移行に向けての課題に気づくことが出来ました。  |
|   | 年間計画に基づき外部研修への参加、また職場内研修を年2回実施し、職員の資質向上と意識・ケアの統一を図ります。                    |  |
|   | 外部の施設見学等にも積極的に参加し、移行に向けた業務運営のノウハウを構築するよう努めます。                             |  |
|   | コスト意識を持ち、ムダの無い適正な物品の使用、管理に努めます。   |  |
|   | 現在の業務における課題を考え、施設移行が円滑に進むよう改善に努めます。                                       |  |
| 利用者のニーズに沿い、楽しんで頂けるサービスを提供、支援します。        | レクリエーション活動に職員全体で取り組み、施設内での楽しみを増やします。                                      | 地域で開催されている祭りやイベントに参加することにより、利用者が社会交流を図れるよう支援しました。ハロウィンやクリスマス、正月・節分といった室内での季節行事や、寺坂の棚田への彼岸花観賞や長瀬への紅葉狩り、吉田の花桃鑑賞等、初めて行く場所もあった外出行事では楽しみを持ちながら季節を感じていただきました。<br>地域のボランティア団体を定期的に招き、他者と交流が持てる環境の提供にも努めました。 |
|   | 地域のイベントへの参加や、外出行事を行い、季節感や地域性を感じてもらえるよう支援します。                              |  |
|   | 地域のボランティア等の活用や、施設行事を増やし、楽しみの機会や交流の場を増やします。                                |  |

|                        |   |   |
|------------------------|---|---|
| 障がい者福祉の支援ネットワークを構築します。 | 秩父特別支援学校、各事業者など関係機関の会議やイベント等に参加し関係を深めます。      | 秩父特別支援学校が主催する進路説明会へ参加し、他事業者と情報の共有を図りました。<br>また、秩父市障がい者福祉課、相談支援専門員と連携を図り、各利用者の支援に関する情報の共有と安定したサービスの提供に努めました。 |
|                        | 相談支援専門員との連携を図り、各利用者の支援に関する情報の共有とサービスの向上に努めます。 |   |
|                        | 障がい者福祉課との連携を維持し、安定したサービスの提供を行います。             |   |



## 障がい者相談支援センター ほのぼの 事業報告

### 事業の概要

| 事業計画                            | 主な事業の内容   | 主な事業の実績   |
|---------------------------------|---|---|
| 関係機関との連携を強化し、積極的に利用者の受入れを行います。  | 市町村、医療機関、教育機関、関係事業所へ積極的に足を運び、意見交換や状況確認を行うことで連携を強化します。                 | 各関係機関と連携を図るため、事業所に足を運び、専門職と意見交換を積極的に行いました。                    |
|                                 | 関係機関からの相談に対して、迅速、柔軟な対応をすることで総支援者数110名以上を目指します。                        | 市町村からの相談依頼を積極的に受け、障がい者73名、障がい児33名、総数106名の計画作成を行いました。          |
|                                 | 相談実績を積むことでネットワークをさらに強化するとともに、各種ケースの相談に積極的に協力し、相談支援事業所としての機能を最大限発揮します。 | 支援会議を定期的に行い、地域の中で相談しやすい事業所となれるよう努めました。                        |
| 相談援助技術の質を高め、自立支援に向けた支援に努めます。    | ライフステージに応じた切れ目のない支援と個人のストレンクスを活かしたサービス等利用計画の作成を行います。                  | 本人、家族、関係機関と連携しながら、本人の強みを活かし充実した生活が送れるよう支援しました。                |
|                                 | 本人の持てる力を最大限発揮し、生き活きと生活できるよう、意見を尊重し、自己決定ができる支援を行います。                   | 本人の望む自己決定ができるよう、本人の意見を尊重し傾聴する姿勢で支援に臨みました。                     |
|                                 | 本人が望む生活を実現するために、サービス担当者全体が同じ方向を向いて支援できるよう、定期的に会議の場を設定します。             | 利用者本人が望むニーズの確認をしっかりと行い、担当者が同一方向を見ながら支援できるようにサービス担当者会議を開催しました。 |
|                                 | モニタリングを重視し、状態の変化にすぐに対応できるよう支援します。                                     | モニタリング時に支援会議を行うことにより、本人、家族の気持ちを、サービス利用計画に反映させました。             |
|                                 | 県、市町村、自立支援協議会等が開催する研修会、勉強会に積極的に参加し、専門性の向上に努めます。                       | 地域で開催される研修会等に積極的に参加し、専門性の向上に努めました。                            |
| 障がい者へのサポートを強化し、地域でできる取り組みを考えます。 | 地域の社会資源の一つとして認知してもらうとともに、その専門性を地域に貢献できるよう、定期的に障がいに関する相談会等を行います。       | 利用者、家族に対して、困りごと相談や日頃の支援について説明、傾聴する機会を作り交流を深めました。              |
|                                 | 新規施設の開設にむけ、関係機関、地域、利用者から情報収集を行い、必要とされるサービスについて実情を元にした提案を行います。         | 地域の中で、求められているニーズを見つけ出せるよう、今後に向けての情報収集を行い、情報、ニーズの整理を行いました。     |
|                                 | 地域の課題について自立支援協議会等へ提言し、地域全体の障害福祉サービスの底上げを図ります。                         | 事業所内で相談支援員の会議を定期的に行い、課題についての協議、情報共有を行いました。                    |
|                                 | 地域等で障がいに関する研修会を実施し、障がいの理解を広めます。                                       | 障がいに関する研修会を行い、障がいに対する理解を深めました。                                |

## 放課後等デイサービス ゆくる 事業報告

### 事業の概要

| 事業計画  | 主な事業の内容   | 主な事業の実績  |
|---|---|--|
| 市町村、関係機関と連携を図り、質の高いサービスを提供します。                | 成長に合わせた支援が提供できるよう、ご家族や特別支援学校、秩父市障がい者福祉課といった関係機関との連携に努めます。                               | 埼玉県発達障害福祉協会へ入会し、発達障害への裾野を広げると共に、児童一人ひとりのストレングスに着目した支援を実施しました。また、家庭、学校、放課後等デイサービスが連携して支援を行うため情報の共有を図りました。                   |
|   | 開かれた事業所として信頼を得られるよう地域との結びつきを重視し、秩父特別支援学校をはじめとした関係機関と情報の共有を図りながら障がい者福祉の向上に努めます。          | 様々な児童との交流を図るため、秩父第一小学校学童保育の園庭での、遊びを通じての触れ合いを実施しました。新規開設する放課後等デイサービス事業所の職員への施設見学受け入れ、特別支援学校教諭の研修受け入れなど、地域全体の障害児福祉の向上に努めました。 |
|   | 非常災害訓練、安全点検、防犯訓練を定期的実施し、安心して過ごせる場を提供します。  | その他、秩父地域自立支援協議会への参加を通して、行政機関、障がい福祉サービス事業者などの関係機関との連携を図りました。安心した空間で過ごせるよう、秩父警察署生活安全課の指導のもと防犯研修を実施しました。                      |
|   | 利用率85%を目標とし、安定した施設運営を目指します。   | 事業実績では利用率86.7%と高い利用率で運営できました。  |
| 発達障害に対する専門性を持ち家族や児童の立場に立った支援を提供します。           | 個々の利用者の希望を叶えるとともに、ご家族の願いを個別支援計画に反映できるよう適切かつ効果的な支援を提供します。                                | 定期的にモニタリングを行い、個々の成長に応じて、個別支援計画を見直し、療育支援を実施しました。また、日頃からご家族への言葉かけを意識して、信頼関係の構築に努めました。  |
|   | 多様なニーズにこたえられるよう障害特性（LD、ADHD、自閉症等）についての研修を適宜おこない職員の資質向上に努めます。                            | 一人ひとりの個性に寄り添い、「出来た」という成功体験を大事にした取り組みを行いました。ご家族参加型のイベントを開催し、ゆくるでの日頃の様子を見ていただくとともに、児童と一緒にバーベキューをすることにより、ご家族との交流を深めました。       |
|   | 児童ひとりひとりのストレングスに着目して、個々の成長に見合った取り組みを実施します。また、放課後や長期休暇中の安心できる居場所として、楽しみながら通所できる施設を目指します。 | 長期休暇中には、群馬県伊香保町や群馬県立自然史博物館への小旅行や、昼食外出、秩父ならではの祭り見学や、自然との触れ合いを大事にした活動を行いました。   |
|   | 家族の要望や相談に対応するため、専門知識の向上に努めます。また、日頃の状況の報告、連絡、相談を大切に、ご家族との信頼関係を築きます。                      | 事故防止については、ヒヤリハット事例の検討を適宜おこない、重大な事故に発展しないよう職員と情報の共有を図りました。職員の資質向上を図るため、内部研修では自閉症についての勉強会、感染症研修を実施しました。                      |
|   | 活動内容を広報誌やホームページ等で広く発信します。   | 活動内容を広く発信するため、Facebookへの活動内容の投稿や、ご家族、各関係機関に向け広報誌を発行しました。   |
|   | 大事故へと至らないよう、ヒヤリハットの事例検討を適宜行い、事故防止に努めます。   |  |
| 個人情報的重要性を職員ひとりひとりが認識し、利用および提供に関して適切な取り扱いをします。 |   |  |

|                             |  |   |
|-----------------------------|--|---|
| 多機能型新施設開所にあたり、施設移行を円滑に進めます。 | 新施設移行後に混乱が生じないように、定員20名となることを視野に入れ、受け入れ方法および支援内容を検討します。      | 新施設移行を視野に入れ、定員が20名となった時にも混乱しないよう、支援内容を想定しながらの活動を心がけました。地域に新しく開所した放課後等デイサービス事業所への見学を行いました。 |
|                             | 理学療法士、作業療法士、言語聴覚士などの専門職の関わりについて調査し、多様な発達障がい児と関われる専門集団を目指します。 |   |
|                             | 他事業所の見学を行うことにより視野を広げ、既存にとらわれない施設運営を目指します。                    |   |